



山本 文雄

一般社団法人東北経済連合会 参与

秋田大学の教育・研究と地域貢献について

新型コロナウイルスの感染拡大に全世界が翻弄されて2年以上が経過しましたが、いまだ収束の兆しが見えておりません。昨年は、ワクチン接種の広がりにより全国の日あたり感染者数が200人前後で推移するまで大幅に減少し、胸をなで下ろしていたのも束の間、感染力の強い変異型ウイルスによる感染急拡大により、一日あたり感染者数が10万人を超えるなど、その対応に追われているところでもあります。このような状況が長引き、桁違いの経済的損失が懸念されておりますが、経済のみならず、我々を取り巻くあらゆる社会環境が著しく変化しており、すべての人々が、この変化への順応を余儀なくされております。

秋田大学では、ポストコロナ／ウィズコロナ社会をいち早く展望し、新しい社会に順応できる人材を育成するための地盤を整えているところです。ビッグデータやAIを活用した新たな産業改革があらゆる分野で進行し、「Society 5.0」という新しい社会が到来しつつありますが、こうした社会に自信を持って羽ばたいていけるよう、全学部の学生さんたちが数理・データサイエンス・AI教育を受けられるよう教養科目の整備を行いました。また、グリーン社会の実現に向けた研究や人材育成についても取り組んでおります。内閣府補助金により、秋田県や秋田県立大学と共同で秋田大学電動化システム共同研究センターを設置し、新世代モーターによる航空機の電動化システムの開発と人材育成を推進しているほか、秋田県が注力している洋上風力発電や余剰電力の利活用など再生可能エネルギーに関する領域にも重点的に取り組んでいく所存であります。

また、秋田県は少子高齢化の最先端県であり、多様な地域課題の解決への貢献が大きく期待されております。県内の経済や産業等の領域は勿論のこと、医療面において県内唯一の特定機能病院として、極めて重要な役割を担っておりますが、日常の医療活動に加え、高齢者医療に特化した研究拠点として高齢者医療先端研究センターを設置し、高齢者医療の先端的な研究や地域社会学の知見を踏まえた学際的な研究を推進しております。加えて、コロナ禍により深刻化した自殺者の増加にも、その防止を主たる使命とした自殺予防総合研究センターを設置し、自殺率日本一、二の汚名を返上すべく学際的研究、予防活動を行っております。地方創生センターにおいては、地域との協働による地域振興策の取組及び地域防災等の研究・支援並びに地域産業の成長に資する研究を推進し、地域を担う人材育成の推進と地域の産業振興、活性化に貢献しているところでもあります。

このように秋田大学はオール秋田の中心としての役割を果たすべく教育・研究、地域貢献に取り組んでおります。現在、新型コロナウイルスの影響により、残念ながら多くの活動が制限されておりますが、感染状況の推移を見守りつつ様々な工夫を重ねながら活動を続けてまいり所存であります。

(秋田大学 学長・やまもと ふみお)